

東北

復興イベント@ONLINE

2021

東日本大震災の復興への取り組みから考える、
これからの地域づくり

2021/7/8 | Thu | 14:00 - 15:30

《主催》株式会社 丹青社
《後援》復興庁・宮城県・石巻市・気仙沼市

登壇者紹介 手話通訳による情報保証を行います

本イベントでは、東日本大震災被災地の復興に関わられてきた方々をお迎えし、これまでの活動やチャレンジの事例、そして、これからの取り組みについてお話を伺い、そこからの気づきをヒントとして、これからの地域づくりを皆さまとともに考えていきたいと思います。

スピーカー



株式会社 巻組
代表取締役

渡邊享子 氏

2011年、大学院在学中に東日本大震災が発生、研究室の仲間とともに石巻へ支援に入る。東日本大震災をきっかけに石巻へ移住。2015年に巻組を設立。資産価値の低い空き家を買上げ、クリエイターをターゲットとした大家業をスタート。シェアやリユースを切り口に地方の不動産が流動化する仕組みづくりを模索中。2019年、「第7回DBJ女性新ビジネスプランコンペティション」(主催:日本政策投資銀行)で「女性起業家賞」を受賞。



農業生産法人 株式会社 GRA
代表取締役 CEO

岩佐大輝 氏

1977年、宮城県山元町生まれ。2002年、大学在学中にITコンサルティングサービスを主要とするズノウを起業。2011年の東日本大震災後は、壊滅的な被害を受けた故郷山元町の復興を目的に GRA を設立。先端施設園芸を軸とした「東北の再創造」をライフワークとするようになる。農業ビジネスに構造変革を起こし、ひと粒 1000 円の「ミガイチゴ」を生み出す。2014年、「ジャパンベンチャーアワード」(主催:独立行政法人中小企業基盤整備機構)で「東日本大震災復興賞」を受賞。



株式会社 丹青研究所 取締役
文化財環境研究所 部長
国際文化観光研究所 室長

崎山幸子 氏

日本で唯一の文化空間専門シンクタンクにて、「日本を伝える会社」というカンパニービジョンのもと、文化財などの文化資源を観光や地域振興の大きな可能性として位置づけ、新しい活用のあり方を提案している。被災地においては、気仙沼市震災遺構(旧気仙沼向洋高校)保存整備に係る調査業務や、熊本地震震災遺構ミュージアムのあり方等検討支援業務などに携わり、地域資源や文化資源の保存・活用に関する調査・企画・設計を通して、地域の活性化に取り組んだ経験を持つ。

ファシリテーター



株式会社丹青社
コマーススペース事業部 プロデューサー
東北復興プロジェクト プロジェクトリーダー

平地洋

1960年宮城県仙台市生まれ。1986年丹青社入社後は、商業施設や飲食店舗、博物館等のさまざまな分野にわたる空間づくりに携わる。現在は、仙台にある東北営業所にて東日本大震災からの復興への取り組みを経て得た経験や気づき、人のつながりを社会の課題解決に活かすべく、公私にわたり取り組んでいる。

タイムテーブル

- 14:00-14:05 オープニング
- 14:05-15:10 第一部 各登壇者ご講演
- 15:10-15:30 第二部 トークセッション

お問合せ・お申込み

QRコードを読み取り、表示されたサイトより必要事項記入の上お申し込みください。ご登録いただいたアドレスに確認メールをお送りいたしますのでお待ちください。(お問い合わせ先: 東北復興イベント事務局 tohokufukko@tanseisha.co.jp)

2021/7/8 | Thu | 13:30 ぴ切 ※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。ご了承ください。

